

ピカッと草津

運用始まる

「地域助け愛応援駐車場」

山田学区 社協だより



「ピカッと草津」で取り組まれてきた在宅サービ
ス時の駐車場問題の解消に向けて「地域助け愛応援
駐車場」の運用が始まりました。地域の団体や個人
宅で「〇〇止めても良いよ」と登録いただいた情報
を事業所（当方は、山田学区医療福祉を考える会議
に参加されている事業所に限定）に開示し、所定の
手続きをして利用できるようになりました。

・世話人会では、運用開
始に先立って、登録いた
だいた駐車場提供者を個
別に訪問し、お礼と運用
ルールの説明をしてしま
した。
駐車場の情報は、イン

第85号
発行
山田学区
社会福祉協議会

ターネット上で

閲覧（閲覧は、

世話人会の認証

が必要）出来るようにしました。

スタートしたばかりで、様々な課題がでてくると
思われますが、住民の皆様や事業所の方々と連携し
て住んで良かったと言われる山田学区づくりを進め
たいと決意を新たにしています。

〈世話人会〉

〈世話人会〉は、市役所、松原地域包括センター、
市社協、学区社協を中心に、時々の課題の関係者で
構成されます。

令和7年度 学区社協総会 〈報告〉

4月19日、まちづくりセンターで、山田学区社
会福祉協議会の総会が開催されました。顧問の藤井
美恵子市議、横江政則市議はじめ参与のご臨席の中
で開催されました。評議員・横江恵子さんを議長に



出屋敷会館前の掲示

選出し、令和6年度事業報告と決算報告および監査
報告、役員改選、令和7年度の事業計画および予算
の審議がおこなわれ、原案通り可決されました。

令和7年度 本部役員 (任期2年)

- 会長 中瀬 清美
- 副会長 大原 友代
- 会計 園田 明美
- 事務局長 駒井 徳蔵
- 事務局員 武村 こころ
- 監事 日山 明子
- 岸本 明廣

(敬称略)



ひろがれ 中まだの 和・環・詩

〜 ひとと人のつながりを求めて 〜



ピカッと草津



三月七日、えん
ゆうの郷で「ピカ
ツと草津」(第2
6回山田学区医療
福祉を考える会議
が開催されました。
高齢化が進む中
で在宅医療・介護
の利用者が増加す

駐車場リストが贈呈
されました。
最後に参加者全員で
桜の花びらに感想と
これからの課題や思
いを書き綴り写真の
ような満開の桜の木
になりました。
この取り組みはこ
れから本番です、

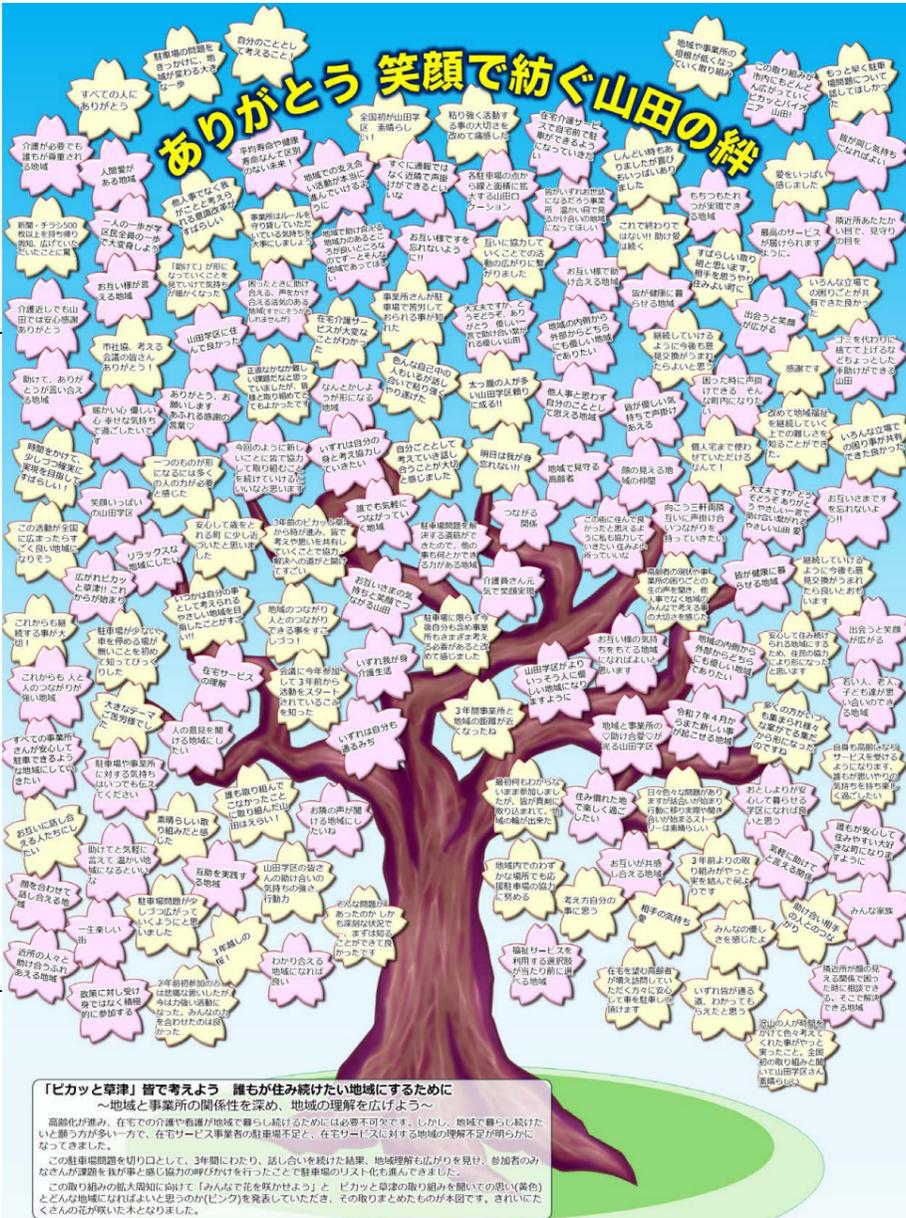
地域助け愛応援駐車場

この駐車場は、事前に登録された医療・福祉事業者がご近所を訪問する際にご利用いただけます。

山田学区医療福祉を考える会議
山田学区社会福祉協議会

参加者の感想

誰もが年若い、皆さんのお世話になる時が来ます。
市社協、学区社協、医療・福祉関係、そして地域の皆さんと、高齢者宅への訪問時の駐車場確保について、三年間話し合って参りました。「訪問する高齢者宅に駐車できない」「道路が狭くて、歩いて訪問宅までは遠すぎる」「道路の端に駐車していたら、駐車違反になっ」た」等々、様々な問題が出されました。
「気持ちよく訪問して頂くには、我々住民がどうすればよいか？」



山田学区医療福祉を考える会議 R7年3月

「ピカッと草津」皆で考えよう 誰もが住み続けたい地域にするために
～地域と事業者の関係を深め、地域の理解を広げよう～
高齢化が進み、在宅での介護や看護が地域で暮らしているためには必要不可欠です。しかし、地域で暮らしたいと願う方が多い一方で、在宅サービス事業者の駐車場不足、在宅サービスに対する地域の理解不足が明らかになってきました。
この駐車場問題を切り口として、3年前にわたり、話し合いを続けた結果、地域理解も広がりを見せ、参加者のみなさんが課題を共有し協力し合いながら進んできたことで駐車場の状況も改善されました。
この取り組みの拡大に向けて「みんなの花を咲かせよう」とピカッと草津の取り組みを聞いての思い(黄色)とどんな地域にすればよいか(ピンク)を発表していただき、その取りまとめたものが本報です。きれいにたくさんの方が咲いた木となりました。

「道路が狭くて、歩いて訪問宅までは遠すぎる」「道路の端に駐車していたら、駐車違反になっ」た」等々、様々な問題が出されました。
「気持ちよく訪問して頂くには、我々住民がどうすればよいか？」

「訪問する高齢者宅に駐車できない」「道路が狭くて、歩いて訪問宅までは遠すぎる」「道路の端に駐車していたら、駐車違反になっ」た」等々、様々な問題が出されました。
「気持ちよく訪問して頂くには、我々住民がどうすればよいか？」

当初は業者が考えたらいいことで、「何で我々が」との声も上がりました。事業所の方々との交流を重ねる中で、理解も徐々に広がりはじめてきました。他人ことではなく我がこととしてとらえ、地域内で駐車可能な所や住民にお願いして駐車スペースの確保をしよつこの機運が高まってきました。

今年2月末で、学区内28ヶ所の団体や個人宅で駐車しても良いよと名乗っていただいています。

この日の医療福祉を考える会議では、この会議に参加されている事業所に、この駐車場情報を公開し、利用にあたってのルールを確認しました。学区社協の中瀬清美会長から、事業所を代表して居宅介護支援事業所きららの村瀬美貴さんに



地域助け愛応援駐車場許可証

ご近所を訪問しています。ご厚意に感謝して、駐車させていただきます。

使用事業所： 山田学区医療福祉を考える会議
連絡先： 山田学区社会福祉協議会



(3)

止めさせて頂きます！



(2)

北山田

北山田ふれあいサロン



北山田ふれあいサロンは、令和七年で十五年目を迎えています。毎週火曜日の午前、北山田会館で、六十五歳以上の十数名の皆さん（最高年齢九十四歳）が、「NHK みんなの体操」のあと、いきいき百歳体操」と「ロからこんにちは体操」を行っています。

月一回は、体操の後、「楽しい語らい・ティータイムの時間」と名付けて、スタッフの皆さんが計画して、町内の健康推進委員などによる健康や生活のために話を聞いたり、ボランティアの方による多彩な芸や音楽、踊りなどを観賞したり、一緒に歌を唄ったりして、楽しいひとときを過ごしています。



今後も、参加メンバーの皆さんのご意見も伺って

内容を充実していく予定です。

サロンに毎週参加することで仲間の皆さんとおしゃべりし笑い合い、体力の維持向上や日々の生活に張りや潤いを感じて、楽しく通い続けられる憩いの場となっています。

北山田ふれあいサロン代表 田淵敏男

山田学区の地域サロン紹介

出屋敷団地

なごみ会

なごみの会の歴史は、平成十六年当時の町会長が、これからの町内会の二十年後の高齢化率を鑑み、高齢者の地域サロンが必要不可欠と判断され出屋敷団地町内会総会で承認を得て、発足した組織です。

モットーは「高齢者の高齢者による高齢者の為の組織」の地域サロンで、町内会に頼らず運営することを基盤としています。歳をとっても健康に、仲間



三名女子三名、会員（70歳から75歳）二十三名

で発足し、現在に至っています。なごみの会の活動として、年二回春・秋の市福祉バスを利用した日帰り旅行では、滋賀県の名所旧跡巡りや竹生島参拝、三井寺・西教寺参詣の実施で教養を高めてもらいました。また、グラウンドゴルフ大会では、気分転換と心の晴れる会話、笑顔あふれる食事会の場づくりに努めて活動しています。

平成二十三年から女性世話人に、百歳体操のサポートの資格を取ってもらい、毎週月曜日に月四回実施しています。

なごみ会代表

橋本 峯治



づくりで研鑽を心掛け、社会の参画を実践し、価値観を共有することで家での閑居じこもりを無くし、励ましあい、澆漓とした人生を送ることを目的としています。当時の世話人は、男子